

補助金公募実施結果

令和8年3月3日

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー一部省エネルギー課

事業名：令和8年度「住宅・建築物需給一体型省エネルギー投資促進事業費」

(採択事業者)

事業者名	法人番号	採択価格	採択指定事業
一般社団法人環境共創イニシアチブ	1010005016502	4,006,000,000円	①非住宅関連事業 A)ZEB化診断・計画策定支援事業 B)ZEB実証事業(複数年度継続事業) C)ZEB実証事業(新規採択分(国庫債務負担行為)) ②住宅関連事業 A)既築住宅のZEH+改修実証支援事業(国庫債務負担行為)

(提案事業者名)

一般社団法人環境共創イニシアチブ

(審査委員属性)

大学教授
大学教授
大学教授

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	55	58	62	175/219

提案事業者名	応募資格	事業内容	事業実施体制	事業実施計画	事業費	業務管理費	賃上げ、 ワークライフ・バランス	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	適	52	65	13	9	24	12	175/219

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
一般社団法人環境共創イニシアチブ	<p>これまでの実績に基づく知見を活かした、充実した申請内容となっている。ZEB、ZEHの取組が今後長期に継続・発展していく重要性を鑑みると、ZEBプラットフォームは社会インフラとして意義があり、その内容の充実と活用促進を期待する。</p> <p>本事業の元となる事業に長年にわたり携わり、経験豊かな多数の専門家を確保するとともに豊富なデータを蓄積しており本事業の目的を達成することは確実であると思われる。従来の実証事業で不足していた部分を補うことにより、ZEBやZEHが社会全体に認知され広範囲に普及するための広報活動についても期待したい。なお、本事業で新設されるZEB診断・計画策定支援事業については、診断の重要性を十分に認識して慎重に審査することが望まれる。</p> <p>住宅・建築に関連する多くの補助事業の実施業務を担い、知見、ノウハウ、資金力、体制等において、業務遂行に十分な能力を有している。非住宅分野における取り組みにおいて、本年度に未利用技術を新規対象に加えた挑戦により、新たな課題が見いだせており、評価に値する。住宅分野においても、オープンハウスの実施や省エネ改修の深堀を目指し新事業に取り組みられ、新たな課題設定を行えており、評価できる。コスト削減や既存プラットフォームの活用など事務効率も高く、体制やスケジュールにも不安はない。</p>